

令和5年7月13日

地方税共同機構 御中

社会保険システム連絡協議会  
給与システムベンダー部会

## 個人住民税特別徴収税額通知(納税義務者用)電子化に係る 社会保険システム連絡協議会からの意見・質問

個人住民税特別徴収税額通知(納税義務者用)の配布業務は、特別徴収義務者にとって多くの時間と工数を要する業務であり、電子化による業務効率化に高い期待を持っております。

ついては、本電子化が特別徴収義務者の業務効率化に資するものとなるよう、当協議会からの意見・質問等を下記のとおり提出いたします。

### 記

#### 1. 税通帳票ファイルのZIPファイルについて

現在示されている「税通帳票ファイルをパスワード付きZIPファイルとすること」、「AES256暗号化方式での暗号化」は、納税義務者の利便性や特別徴収義務者のセキュリティポリシーの観点から大いに懸念があり、このままでは、多くの特別徴収義務者が紙での受取を選択せざるを得ない事態が予想されます。ZIPファイル形式及び現在の暗号化方式は電子化普及への著しい妨げになります。

ついては、本電子化が進むよう、下記2点の実現をお願いいたします。

(1) 納税義務者の利便性・安全性の観点から通知書をZIPファイルにした上でパスワードを設定するのではなくPDFにパスワードを設定していただきたい。

また、どのような議論・背景によりZIPファイルにパスワードを設定するという運用になったのかご説明をいただきたい。

##### 【理由・背景】

セキュリティの観点から、パスワード付のZIPファイルの授受を禁止している特別徴収義務者が多く存在するため、ZIPファイルでは通知書を配付することができません。本件に対応するためにZIPファイルの授受を許容する場合、納税義務者に対してZIPファイルを解凍するための有償ソフトを提供する必要がありますが、コストが掛かります。また無償ソフトの場合はセキュリティに懸念があるため、特別徴収義務者の立場として納税義務者にインストールを勧めることはできません。

また、ZIPファイルの授受を認めている特別徴収義務者の場合でも、全ての納税義務者がPCを所有しているわけではなく、納税義務者自身のスマートデバイス等で税額通知を確認する場合、ZIPファイルでは納税義務者の利便性を著しく阻害し、負担が増大します。

(2) 暗号化方式を現在示されている「AES256暗号化方式」から「Zipcrypto」にしていただきたい。

##### 【理由・背景】

「AES256暗号化方式」では、特別徴収義務者・納税義務者において通常利用されているWindowsの標準機能では解凍することができません。

6月30日に公開された仕様「全体概要(特徴税通システム)」において、「AES256 暗号化方式で暗号化されたファイルは、Windows標準のアプリケーションでは復号化できず、対応するアプリケーションのインストールが必要である等、復号化するために考慮すべき事項がある。特別徴収義務者には、納税義務者に対してその旨の案内をする等、納税義務者が税通帳票ファイルを復号化するために必要な対応をお願いしたい」とされていますが、特別徴収義務者各社のセキュリティ的な障壁や納税義務者への統一的な連絡方法など「必要な対応」の難度は高いと考えます。

また、この確認方式では、納税義務者個々人のITリテラシーに依存する部分が大きく、処分通知という性格上、納税義務者にとって公平性に欠けるものとなると懸念いたします。

## 2. 税通ファイル取得APIの仕様について

4月28日にいただいた「要望への回答」では、「各市区町村、各従業員(納税義務者)のPDFファイルを一括で受信するAPIの公開を予定」とされており、下記のとおり意見・質問をいたします。

- (1) 本APIに関する実施時期、仕様の公開時期を教えてください。
- (2) 特別徴収義務者(アプリケーション側)からのAPIの実行に必要な設定値はどのように想定されていますか。(例えばAPI利用時に企業を特定するためのIDやパスワードなど)
- (3) 特別徴収義務者がeLTAXからファイルを取得する際、既に取得済みのファイルを除いて、未取得のファイルのみ取得できる仕様としていただきたい。
- (4) 当初の決定通知と変更通知を日付以外で判別できるファイル命名としていただきたい(普通徴収から特別徴収への切替など、変更通知のみが特別徴収義務者へ送付される可能性が考えられるため)。
- (5) API経由でのファイル取得の際、サーバーやネットワークのエラーで送信が途中で止まってしまった場合の仕様を明確にしていきたい。
- (6) 日次でAPI実行のリクエストを行う場合、eLTAXサーバーへの負荷について問題はないでしょうか。
- (7) APIからのファイル取得時点で、対象ファイルに、通知書内容以外の仕様不備(ファイルの破損やファイル構造の誤りなど)がないことを保証するようなシステム(チェック機構など)にしていきたい。

## 3. パスワード取得用URLファイルについて

6月30日に公開されたパスワード取得用URLファイルに関する仕様について、下記のとおり質問いたします。

- (1) パスワード取得用URLファイルについて、変更通知が発行された場合、当初の決定通知とともに発行されたものとは別のパスワード取得用URLファイルが発行されるのでしょうか。

(2)「全体概要別紙2:パスワード取得用URLファイルイメージ」において、「パスワード取得可能期間は発行年月日から1年間」とありますが、期間を過ぎてからURLにアクセスした場合、どういう画面が表示されますか。

#### **4. パスワードを一括受信するAPIの実装について**

4月28日にいただいた「要望への回答」のNo.5のご回答につきまして、特別徴収義務者が給与計算ソフト等でパスワードを一律的に解除することは想定されていないことは理解できましたが、特別徴収義務者や納税義務者の利便性の観点から、パスワードを一括受信するAPI実装の再考をお願いいたします。

以上